

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	肺腫瘍の定位放射線治療における深吸気停止照射と呼吸制限のない照射との治療効果および有害事象の比較
研究責任者	野末政志
研究実施体制	当院腫瘍放射線科、放射線部、外来看護課が中心となり研究を実施する 専門的な画像解析は、個人情報を除いた上で、外部機関(東北大学大学院放射線腫瘍学分野)で行う。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2025年3月31日
対象者	2016年から2022年までに当院で肺腫瘍に対して定位放射線治療を行った症例。
研究の意義・目的	肺腫瘍に対する定位放射線治療を行う際、深吸気停止による治療効果および有害事象を、呼吸制限を行わない放射線治療と比較・解析する事で、さらに副作用の少ない効果的な治療方法を築き上げていく。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 年齢、性別、原発巣、腫瘍マーカー、画像所見、CTCAE v5.0 有害事象、TNM 病期分類 【評価・解析方法】カテゴリ変数の相関は Fisher の正確検定を行い、連続変数は Wilcoxon の検定を行う。Follow-up 期間は治療初日を起点に計測した。p 値が 0.05 未満を統計的に有意とみなす。 4D-CT を用いた DIR による肺機能評価は、専門とする外部機関(東北大学大学院放射線腫瘍学分野)で、個人情報を除いたデータを用いて行う。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腫瘍放射線科 野末政志 TEL:053-474-2222(代表) 腫瘍放射線科外来 9:00~17:00 平日